

## 埼玉県警察捜査書類書式例の制定について

平成 12 年 12 月 28 日

埼例規第 92 号・刑総

警 察 本 部 長


埼玉県警察捜査書類書式例の制定について（例規通達）

みだしのことについては、さいたま地方検察庁と協議のうえ、埼玉県警察捜査書類書式例を次のとおり定め、平成 13 年 1 月 1 日から実施することとしたから、運用上誤りのないようにされたい。

### 記

#### 書式例

- |    |          |                |
|----|----------|----------------|
| 1  | 様式第 1 号  | 電話用紙           |
| 2  | 様式第 2 号  | 電話・口頭願届録取書     |
| 3  | 様式第 3 号  | 被害上申書          |
| 4  | 様式第 4 号  | 被害品確認書         |
| 5  | 様式第 5 号  | 質受・買取上申書       |
| 6  | 様式第 6 号  | 在籍等照会結果報告書     |
| 7  | 様式第 7 号  | 犯罪経歴照会結果報告書    |
| 8  | 様式第 8 号  | 遺留品発見報告書       |
| 9  | 様式第 9 号  | 遺留品発見届         |
| 10 | 様式第 10 号 | 写真撮影報告書        |
| 11 | 様式第 11 号 | 現場見取図作成報告書     |
| 12 | 様式第 12 号 | 請書             |
| 13 | 様式第 13 号 | 出火届            |
| 14 | 様式第 14 号 | 類焼届            |
| 15 | 様式第 15 号 | 所持金品確認報告書      |
| 16 | 様式第 16 号 | 捜査囑託に対する回答について |
| 17 | 様式第 17 号 | 令状請求連絡票        |
| 18 | 様式第 18 号 | 非行・補導歴調査結果報告書  |
| 19 | 様式第 19 号 | 毒物及び劇物取締法違反報告書 |

20	様式第20号	トルエン予備試験結果報告書
21	様式第21号	証拠物件鑑定承諾書
22	様式第22号	覚醒剤予試験実施結果報告書
23	様式第23号	大麻予試験実施結果報告書
24	様式第24号	コカイン予試験実施結果報告書
25	様式第25号	採尿報告書
26	様式第26号	尿中覚醒剤予試験実施結果報告書
27	様式第27号	実況見分調書（ステレオカメラ用）
28	様式第28号	交通事故事件（事故不申告）捜査報告書
29	様式第29号	飲酒検知器による酒気帯び程度の検査結果報告書
30	様式第30号	交通前歴照会結果報告書
31	様式第31号	 自動車運転免許証
32	様式第32号	仮還付証拠品提出書
33	様式第33号	訂正・追加被害届
34	様式第34号	口腔内細胞に係る任意提出・DNA型鑑定承諾・所有権放棄書

#### 実施日

この例規通達は、平成13年1月1日から実施する。

実施日（平成13年4月27日埼例規第61号・務）

この例規通達は、平成13年5月1日から実施する。

実施日（平成13年6月4日埼例規第74号・刑総）

この例規通達は、平成13年6月15日から実施する。

実施日（平成14年2月15日埼例規第7号・刑総）

この例規通達は、平成14年2月18日から実施する。

実施日（平成15年9月30日交指第882号）

この通達は、平成15年10月1日から実施する。

実施日（平成16年5月25日刑総第409号）

この通達は、平成16年6月1日から実施する。

実施日（平成20年3月31日務第922号）

この通達は、平成20年4月1日から実施する。

実施日（平成22年1月27日薬銃対第170号）

この通達は、平成22年2月1日から実施する。

実施日（平成22年3月30日務第770号）

この通達は、平成22年4月1日から実施する。

実施日（平成30年3月26日刑総第628号）

この通達は、平成30年4月1日から実施する。

実施日（平成31年3月19日刑総第852号）

この通達は、平成31年4月1日から実施する。

実施日（平成31年4月19日文第173号）

この通達は、平成31年5月1日から実施する。

実施日（平成31年4月23日薬銃対第268号）

この通達は、平成31年5月7日から実施する。

実施日（令和2年3月27日薬銃対第227号）

この通達は、令和2年4月1日から実施する。

実施日（令和3年3月30日務第670号）

1 この通達は、令和2年4月1日から実施する。

2 この通達の実施の際、この通達による改正前の様式による用紙で、現に残存するものは、なお使用することができる。

実施日（令和4年11月21日刑総第2465号）

この通達は、令和4年12月1日から実施する。

実施日（令和6年4月1日刑総第814号）

この通達は、令和6年4月1日から実施する。

実施日（令和6年9月26日組一第2050号）

この通達は、令和6年10月1日から実施する。

実施日（令和6年12月6日組一第2833号）

この通達は、令和6年12月12日から実施する。

実施日（令和7年1月10日交捜第17号）

この通達は、令和 7 年 1 月 10 日から実施する。

実施日（令和 7 年 5 月 27 日交指第 859 号）

この通達は、令和 7 年 5 月 27 日から実施する。

実施日（令和 7 年 5 月 27 日刑総第 863 号）

1 この通達は、令和 7 年 6 月 1 日から実施する。

2 この通達による改正前の自転車指導警告カード活用要領別記様式第 1 で現に残存するものは補正を加え、なお使用することができる。



様式第2号

電話

願 届 録 取 書

口 頭

受理年月日時分		年 月 日 午前・午後 時 分	取扱者	埼玉県 警察署 司法 印
願 届 人 の 住 所 職 業 氏 名 年 齢	電 話			
件 名				
処 理  結 果				

被 害 上 申 書					
					年 月 日
埼玉県		警察署長 殿			
		上申者 住 居			
		氏 名			印
		(電話			)
		わかりました			
次のとおり		被害が			からお届けします。
		ありました			
被 害 者 の 住 居					
職 業、氏 名、年 齢					
被 害 の 年 月 日 時		年 月 日 午 時 分ころから 年 月 日 午 時 分ころまでの間			
被 害 の 場 所					
被 害 の 模 様					
被 害 金 品	品 名	数 量	時 価	特 徴	所 有 者
犯人の住居、氏名 又は通称、人相、 着 衣、特 徴 等					
参 考 事 項 (遺 留 品 そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項)					
被害届をしなかつ た 理 由					
			届出受理者	係	氏名

(注意) 1 被害を知っていて届のなかったときは、「わかりました」を、警察官から言われて被害を知った時は「ありました」を○で囲むこと。  
2 上申者と被害者とが異なるときは、上申者と被害者との関係及び本人届出の理由を参考事項欄に記入すること。  
3 上申者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職氏名」を記載し、押印すること。





質 受  
買 取

上 申 書

年 月 日

埼玉県 警察署長殿

住所

職業

氏名 (印)

( 歳 )

電話

当店で取引した品物が、

事件の被害品とのことで、その取引状況等について、次のとおり申し上げます。

取 引 の 相 手 人 (住所、職業、年齢)			
取 引 年 月 日 (時)	年 月 日 (午前・午後 時 分ころ)		
取 引 場 所			
取 引 状 況			
取 引 物 件			
品 名 ( 特 徴 )	数 量	取 引 額 (円)	
		円	
		円	
		円	
		円	
身 元 確 認 方 法			
取 引 物 件 の 措 置			
取 引 相 手 人 と の 面 識 の 程 度			

(注意) 1 事例に応じ該当文字を○で囲むこと。取引時間が判明する場合は、取引年月日欄に時間を記入すること。

2 上申者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。

在籍等照会結果報告書

年 月 日

埼玉県 警察署長  
司法警察員 警視 殿  
埼玉県 警察署  
司法 印

本籍  
生地  
住所  
氏名 年 月 日生 ( 歳)

本日、上記の者について、在籍、住民登録の有無を に電話照会した結果、係員 ( ) から下記のとおり回答があったので報告する。  
記

☐ 在籍、住民登録なし。

☐ 在 籍

☐ 上記の者の は次のとおりである。

☐ 住民登録

本籍  
生地  
住所  
氏名 年 月 日生 ( 歳)

家 族 関 係			
続柄	氏 名	生 年 月 日	備 考
		明・大・昭・平・令 年 月 日	
		明・大・昭・平・令 年 月 日	
		明・大・昭・平・令 年 月 日	
		明・大・昭・平・令 年 月 日	
		明・大・昭・平・令 年 月 日	

(注意) 1 事例に応じ該当文字を○で囲むこと。  
2 □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

犯罪経歴照会結果報告書

年 月 日

埼玉県 警察署長  
司法警察員 警視 殿

埼玉県 警察署  
司法 印

本籍  
生地  
住所  
職業  
氏名

年 月 日生 ( 歳)

本日、上記の者の犯罪経歴について、警察庁に照会したところ、下記のとおり回答があったので報告する。

記

☐ 犯罪経歴の登録なし。

☐ 上記の者の犯罪経歴は次のとおりである。

☐ 類似者

本籍  
生地  
異名  
氏名

年 月 日生 ( 歳)

犯歴番号

—

犯 罪 経 歴						
区分	検 挙		処 分 ・ 裁 判			
	年 月 日	警 察 署	罪 名 (手)	年 月 日	機 関	処 分 内 容
1	昭和・平成・令和 年 月 日			昭和・平成・令和 年 月 日		年 月 罰金 円
2	昭和・平成・令和 年 月 日			昭和・平成・令和 年 月 日		年 月 罰金 円
3	昭和・平成・令和 年 月 日			昭和・平成・令和 年 月 日		年 月 罰金 円
4	昭和・平成・令和 年 月 日			昭和・平成・令和 年 月 日		年 月 罰金 円

参考事項（指名手配、同通報、暴力団登録等）

(注意) 1 □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。  
2 犯罪経歴の年月日欄は、該当する元号を○で囲むこと。  
3 犯罪経歴が5件以上ある場合は、続用紙を使用すること。

[illegible]

遺 留 品 発 見 報 告 書	
年 月 日	
埼玉県 警察署長	
司法警察員 警視 殿	
埼玉県 警察署	
司法	㊟
次のとおり被疑者 が遺留したと認められる物を発見したので報告する。	
事 件 名	被疑事件
発 見 年 月 日 時	年 月 日午前・午後 時 分ころ
発 見 物 件	領置調書（乙）のとおりに
発 見 場 所	
発見の経緯及び状況	
発見現場付近見取図	方 位

遺 留 品 発 見 届		
		年 月 日
埼玉県	警察署長殿	
	発見者住居	
	職業	
	氏名	
	印	
次のとおり 被疑者 が遺留した と思われる物を発見したのでお届けします。 犯 罪 に 関 係 が あ る		
事 件 名	被疑事件	
発 見 年 月 日 時	年 月 日 午前・午後 時 分 ころ	
発 見 物 件	任意提出書のとおり	
発 見 場 所		
発見の経緯及び状況		
発見現場付近見取図		方 位
		取扱者

(注意) 1 発見者の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職氏名」を記載し、押印すること。  
2 本届書を発見者本人が作成した場合は、取扱者欄に取扱者が押印すること。

年 月 日

埼玉県 警察署長  
司法警察員 警視 殿

埼玉県 警察署

司法

印

## 写 真 撮 影 報 告 書

被疑者 に対する 被疑事件につき、下記のとおり写真撮影したので  
添付して報告する。

記

1 撮影年月日

年 月 日

2 撮影場所

3 撮影者

4 立会人

住居

職業

氏名

年齢

( 歳)

5 撮影物件等

6 添付枚数

写真 枚

画像 枚

7 その他

年 月 日

埼玉県

警察署

司法

印

## 現 場 見 取 図 作 成 報 告 書

- 本職は 被害の窃盗被疑事件について 年 月 日、  
☐ 立会のもとに現場見分を行い、その指示説明に基づきこの見取図を作成した。  
☐ の説明に基づき、この見取図を作成した。

現 場 見 取 図		
被害場所		方 位

(注意) 1 該当する□に✓印を記入すること。  
2 説明に基づく作成は、届出人(被害者)が、やむを得ない理由により、被害現場の立  
会見分を望まない場合に行うこと。



請 書

本籍

住所

職業

氏名

( 歳)

上記の者、本日貴署において

被疑事件につきお取調べ

中のところ、私にただいま本人を引き渡していただきました。今後は、私の責任で本人が再度刑罰法令に触れるようなあやまちを犯さないよう監督します。また、呼出のときは、私が責任をもってご指定の日時に、ご指定の場所へ本人を出頭させることを約束し請書を提出します。

年 月 日

引受人

住 所

職 業

上記本人との関係

氏名

印

電話

埼玉県

警察署長殿

出 火 届			年 月 日
埼玉県 警察署長 殿		届出人 住居	
		職業 氏名	(印) ( 歳 )
		(電話	)
次のとおり出火したのでお届けします。			
建 物 の 所 有 者 (住所、職業、氏名、年齢)			
建 物 の 管 理 者 (住所、職業、氏名、年齢)			
出 火 年 月 日 時		年 月 日 午 時 分 ころ	
出 火 場 所			
焼 失 物 件 並 び に 損 害 見 積			
損 害 の 程 度	建 物		
	家 財 道 具		
	そ の 他		
出 火 の 原 因			
火 災 保 険 加 入 の 有 無			
居 住 者 氏 名 及 び そ の 他 参 考 事 項			

- (注意) 1 届出人と建物の管理者が異なるときは、届出人と建物の管理者との関係及び本人届出の理由を参考事項欄に記入すること。
- 2 届出人の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。

類 焼 届		年 月 日
埼玉県	警察署長 殿	
届出人 住居		
職業		
氏名		⑩
		( 歳 )
(電話		)
次のとおり類焼被害があったのでお届けします。		
建 物 の 所 有 者 (住所、職業、氏名、年齢)		
建 物 の 管 理 者 (住所、職業、氏名、年齢)		
類 焼 年 月 日 時		年 月 日 午 時 分 ころ
類 焼 建 物 の 所 在 地		
焼 失 物 件 並 び に 損 害 見 積		
損 害 の 程 度	建 物	
	家 財 道 具	
	そ の 他	
出 火 の 原 因		
火 災 保 険 加 入 の 有 無		
居 住 者 氏 名 及 び そ の 他 参 考 事 項		

(注意) 1 届出人と建物の管理者が異なるときは、届出人と建物の管理者との関係及び本人届出の理由を参考事項欄に記入すること。  
2 届出人の依頼によって警察官が代書したときは、末尾空欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職、氏名」を記載し、押印すること。



[illegible]

第 号  
年 月 日

警察署長

司法警察員 警視 殿  
埼玉県 警察署長  
司法警察員 警視

捜査嘱託に対する回答について

別紙書類のとおりであるから捜査嘱託書を添えて回答する。

## 令 状 請 求 連 絡 票

作成者 埼玉県

警察署 階級

氏名



埼玉県

警察署加入電話

( ) 0110・警察電話番号

受信取扱者名			担当裁判官名		
連 絡 日 時	年 月 日 午前・午後 時 分				
到着予定日時	年 月 日 午前・午後 時 分 ころ				
令 状 の 種 類	<input type="checkbox"/> 逮捕状（乙） <input type="checkbox"/> 搜索差押許可状      身体検査令状 <input type="checkbox"/> 鑑定処分許可状 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
被 疑 者 名 簿	追番	氏 名 ・ 年 齢 ・ 逮 捕 日 時			住 居 の 状 況
	1	氏名 ( 歳) 年 月 日 午前・午後 時 分			<input type="checkbox"/> 不 定 <input type="checkbox"/> 不 詳
	2	氏名 ( 歳) 年 月 日 午前・午後 時 分			<input type="checkbox"/> 不 定 <input type="checkbox"/> 不 詳
	3	氏名 ( 歳) 年 月 日 午前・午後 時 分			<input type="checkbox"/> 不 定 <input type="checkbox"/> 不 詳
罪 名	<input type="checkbox"/> 窃盗 <input type="checkbox"/> 強盗 <input type="checkbox"/> 横領 <input type="checkbox"/> 詐欺 <input type="checkbox"/> 恐喝 <input type="checkbox"/> 傷害 <input type="checkbox"/> 殺人 <input type="checkbox"/> 覚醒剤（使用・その他） <input type="checkbox"/> 暴処法 <input type="checkbox"/> 道交法 <input type="checkbox"/> 業過致死・傷 <input type="checkbox"/> 未遂 <input type="checkbox"/>				
弁 録 内 容	<input type="checkbox"/> 認めている <input type="checkbox"/> 否認 <input type="checkbox"/> 一部否認				
要 早 急 処 理 理 由					
裁 判 官 指 示	(請求先裁判所 裁判所 )				
受 理 日 時	年 月 日 午前・午後 時 分				
発 付 日 時	年 月 日 午前・午後 時 分				

(注意) ☐印のある欄は、該当の☐印の中にレを付けること。

※ 連絡先    さいたま地方裁判所    警察電話5811又は加入電話048（863）4111  
 熊谷支部    加入電話048（521）4821

非行・補導歴調査結果報告書

年 月 日

埼玉県 警察署長  
司法警察員 警視 殿  
埼玉県 警察署  
司法 ⑩

本 籍	
住 居	
職業（学校名）	
氏 名	
年 月 日生（ 歳）	

上記被疑少年の非行・補導歴について調査した結果は、下記のとおりであるから報告する。  
記

- ☐ 非行・補導歴該当なし。
- ☐ 前記少年の非行・補導歴は、次のとおりである。

番号	年 月 日	非行（補導）行為名	行為内容	扱い警察署	措置及び処分結果
	. .				
	. .				
	. .				
	. .				
	. .				
	. .				
	. .				
	. .				
	. .				
備考					

（注意）□印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。



[illegible]

トルエン予備試験結果報告書			
年 月 日			
警察署長 司法警察員 警視 殿			
警察署 司法 印			
みだしのことについては、次のとおりであるから報告する			
被 疑 者	本 籍 住 居 職 業 学 年 学校 学年在学 (ふりがな) 氏 名 年 齢 年 月 日生 ( 歳)		
実施日時	年 月 日 午 時 分から 同 日 午 時 分までの間		
実施場所			
実 施 者	警察署 司法		
立 会 人			
検 体			
予 備 試 験 の 経 過 及 び 措 置			
1 トルエン検知管を吸引ポンプに接続し、検体の気化している部分を吸収通過させたところ、  下記のとおりであった。			
番号	トルエン検知管の変色の状況	判 定	押収品目録番号
2 予備試験済みの検知管は、当署 係に引継いだ。			

証 拠 物 件 鑑 定 承 諾 書

年 月 日

警察署長

警視 殿

私は 事件について取調べを受けましたが、押収された証拠物件については、鑑定上必要と認められる処分をされることについて異議はありません。

住居

氏名



覚醒剤予試験実施結果報告書		
年 月 日		
埼玉県 警察署長 司法警察員 警視 殿		
埼玉県 警察署 司法 印		
覚醒剤取締法違反被疑事件に関する予試験実施結果は、下記のとおりであるから報告する。		
記		
被 疑 者	住居	
	職業	
	氏名	
	年齢	
実 施 日 時		
実 施 場 所		
実 施 者		
立 会 人		
検 体		
予 試 験 方 法		
予 試 験 結 果 及 び 措 置		
備 考		

大麻予試験実施結果報告書	
年 月 日	
埼玉県 警察署長 司法警察員 警視 殿 埼玉県 警察署 司法 印	
被疑事件に関する予試験実施結果は、 下記のとおりであるから報告する。 記	
被 疑 者	
実 施 日 時	
実 施 場 所	
立 会 人	
検 体	
予試験方法	
予試験結果	
備 考	

コカイン予試験実施結果報告書	
年 月 日	
埼玉県 警察署長	
司法警察員 警視 殿	
埼玉県 警察署	
司法 印	
麻薬及び向精神薬取締法違反被疑事件に関する予試験実施結果は、下記のとおりであるから報告する。	
記	
被 疑 者	
実 施 日 時	
実 施 場 所	
立 会 人	
検 体	
予 試 験 方 法	
予 試 験 結 果	
備 考	

# 採 尿 報 告 書

年 月 日

埼玉県 警察署長

司法警察員 警視 殿

埼玉県 警察署

司法印

被疑事件につき、被疑者から採尿した状況は下記のとおりであるから報告する。

記

被 疑 者	
採 尿 日 時	
採 尿 場 所	
採 尿 者 及 び 立 会 人	
採尿するに 至った経過	
採 尿 時 の 状 況	
採 尿 量	
措 置	

尿中覚醒剤予試験実施結果報告書		
年 月 日		
埼玉県 警察署長		
司法警察員 警視 殿		
埼玉県 警察署		
司法 印		
尿中覚醒剤予試験を実施した結果は、下記のとおりであるから報告する。		
記		
被 疑 者		
実 施 日 時		
実 施 場 所		
立 会 人		
検 体		
覚 醒 剤 検 査 キ ャ ッ ト (アキュサイン)	予試験方法	
	結 果	
覚 醒 剤 ・ M D M A 検 査 キ ャ ッ ト (アイベックス)	予試験方法	
	結 果 M E T H (メタンフェタミン)	
	結 果 M D M A	
総 合 判 定		
備 考		



(参考) 尿中覚醒剤予試験実施要領(平成31薬銃対第265号)別表

予試験結果による総合判定

覚醒剤 検査キット (アキュサイン)	覚醒剤・MDMA検査キット (アイベックス)		予試験判定
	METH (メタンフェタミン)	MDMA	
+	+	—	覚醒剤を含有する。
+	—	—	微量の覚醒剤を含有する。
+	+	+	覚醒剤及びMDMAを含有するか、 又は高濃度の覚醒剤を含有する。
+	—	+	MDMAを含有するか、又は微量の 覚醒剤及びMDMAを含有する。
—	—	+	MDMAを含有する。
—	—	—	覚醒剤及びMDMAを含有しない。

(注) 「+」は陽性、「—」は陰性を表す。

実 況 見 分 調 書									
年 月 日									
埼玉県 警察署									
司法 印									
被疑者 に対する業務上過失 被疑事件につき、 本職は次のとおり実況見分をした。									
1 実況見分の日時 年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで								天候	
2 実況見分の場所、身体又は物									
3 実況見分の目的 現場及び事故発生状況を明かにして、過失の有無を認定し、あわせて証拠を保全するため									
4 実況見分の立会人 住 居 職 業 氏名・年齢 ( 歳)									
5 実況見分の経過 (1) 現場の位置 別紙図面のとおり (2) 現場の様相									
一 般 的 状 況									
市 街	市街地		非市街地		信 号 機	作動中（三色信号、赤黄点滅）			
見とおし	前方	良	約	メートル		休止中	なし		
	右方	良	約	メートル	交 通 量	車両	多い	普通	少ない
		人				多い	普通	少ない	
	左方	良	約	メートル	照 明	施設	あり なし		
不良		夜間				明るい	やや明るい	暗い	
道 路 状 況									
歩 車 道	区分あり		区分なし		路 面	平坦、凹凸、破損、工事中			
舗 装	アスファルト、コンクリート		その他（ ）			交通規制	乾燥、湿潤、凍結、積雪		
	路 線	直線、曲り角、カーブ（ ）		交差点（ ）			速度規制（ km/h）、駐車禁止、一方通行 追越しのための右側部分はみだし禁止、一時停止 その他（ ）、なし		
側 溝	有蓋	無蓋	なし		横 断 歩 道 等	横断歩道 方 メートル			
勾 配	上り	下り	なし			歩 道 橋 方 メートル			
そ の 他 の 状 況									

## (3) 被疑車両および被疑者の状況

被 疑 車 両 の 状 況			
用 自動車 号		操 行 装 置	異常 なし あり
乗車積載の状況		制 動 装 置	異常 なし あり
ハンドルの位置	左 右		
破損の状況			
被 疑 者 の 負 傷 状 況			

## (4) 被 車両及び被 者の状況

被 車 両 の 状 況			
用 自動車 号		操 行 装 置	異常 あり なし
乗車積載の状況		制 動 装 置	異常 あり なし
ハンドルの位置	左 右		
破損の状況			
被 者 の 負 傷 状 況			

## (5) 事故発生時の状況

立会人指示説明	略 図

## (6) 証拠物

## (7) 実況見分補助者

以上を総合して衝突地点（⊗）を決定し、衝突地点（⊗）にいたるまでの関係地点の位置を確定して、この実況見分の補助者 として  
 立体写真（ 組）平面写真 枚を撮影させ（た）、その写真に基づき、県警察本部  
 交通部交通捜査課 をして別添のとおり図化せしめた。

交通事故事件（事故不申告）捜査報告書										
年 月 日										
埼玉県		警察署長								
司法警察員		警視		殿		埼玉県警察署				
				司法		印				
下記交通事故事件の申告を受けた経過等は、次のとおりであるから報告する。										
申告の受理状況	申告日時		年 月 日		時 分		ころ			警察署に
	場 所		において司法 が受理							
	申 告 者		住所							
			氏名							
	種 別		加害者、被害者、同乗者（ 側）、その他（ ）							
	事故概要とその認識状況		発 生 日 時		年 月 日		時 分		ころ	
			発 生 場 所		先路上					
	当事者の住所氏名等		第 1 当事者		住所 氏名					
			第 2 当事者		住所 氏名					
			第 3 当事者		住所 氏名					
	被害状況		事 故 態 様							
			被 害 状 況		物損  人身					
	申 告 遅 延 理 由									
申 告 の 動 機										
当時者からの申告の有無についての調査結果				下記について調査したが、当事者からの申告の事実なし。 管轄（ 交番）、隣接（ 交番）、交通係員、 宿直勤務員、110番簿冊、その他（ ）						
措 置										
備 考										

(注意) この書式は、特例・簡約特例書式適用事件において使用すること。

## 飲酒検知器による酒気帯び程度の検査結果報告書

年 月 日

埼玉県 警察署 長  
司法警察員 殿

埼玉県 警察署  
司法

印

下記被疑事件について、被疑者の酒気帯びの程度を検査した結果は、下記のとおりであるから報告する。

### 記

#### 1 事件名

- ☐ 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律違反及び道路交通法違反  
☐ 道路交通法違反  
☐

#### 2 被疑者の氏名、生年月日等

氏 名

年 月 日生( 歳)

#### 3 検査日時

年 月 日 午 時 分 ころ

#### 4 検査場所

#### 5 使用機器

#### 6 検査方法及び結果

#### 7 その他

被疑者に対する質問応答状況等は、別添「鑑識カード」のとおり。

- (注意) 1 □印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。  
2 鑑識カードは更紙に貼付した上、作成者が押印し本書に契印すること。

交通前歴照会結果報告書

年 月 日

埼玉県  
司法警察員

長  
殿

埼玉県  
司法



下記被疑者の交通前歴について、

- ☐ 埼玉県警察本部交通部運転免許本部運転管理課
- ☐ 警察庁情報処理センター

に照会したところ、下記のとおりであるから報告する。

記

1 被 疑 者

本 籍  
住 居  
職 業  
氏 名 等

(☐男☐女)

年 月 日生 ( 歳)

2 照会結果

違 反 （ 事 故 ） の 前 歴					
番号	種別	違反年月日	違反名	検挙署・ 隊	違反車種
1		年      月      日			
2		年      月      日			
3		年      月      日			
4		年      月      日			
5		年      月      日			
行 政 処 分 前 歴					
番号	処分公安委員会		処分年月日	処分内容	
1			年   月   日	(       )	
2			年   月   日	(       )	
3			年   月   日	(       )	
		回答取扱者	□運転管理課    □警察庁照会		

- (注意)
- 1 運転免許を受けていない者については、運転管理課に照会すること。
  - 2 ☐印のある欄については、該当の☐印の中にレを付けること。
  - 3 種別欄は、違反、事故の別を記載すること。
  - 4 違反（事故）の前歴が6件以上又は行政処分前歴が4件以上ある場合は、継続用紙を使用すること。

(継続用紙)

違 反 ( 事 故 ) の 前 歴					
番号	種別	違反年月日	違反名	検挙署・ 隊	違反車種
6		年 月 日			
7		年 月 日			
8		年 月 日			
9		年 月 日			
10		年 月 日			
11		年 月 日			
12		年 月 日			
13		年 月 日			
14		年 月 日			
15		年 月 日			
16		年 月 日			
17		年 月 日			
18		年 月 日			
19		年 月 日			
20		年 月 日			
21		年 月 日			
22		年 月 日			
23		年 月 日			
24		年 月 日			
25		年 月 日			
行 政 処 分 前 歴					
番号	処分公安委員会	処分年月日	処 分 内 容		
4		年 月 日	( )		
5		年 月 日	( )		
6		年 月 日	( )		
7		年 月 日	( )		
8		年 月 日	( )		
9		年 月 日	( )		
10		年 月 日	( )		



自動車運転免許証

(新規・更新・再交付)

氏名				生年月日		大 昭 平 年 月 日	
本籍国籍							
住所							
免許証番号		第		号		公安委員会	
交付		年 月 日					
有効期限		年の誕生日まで有効					
免許の条件等							
免許年月日	第一種免許	二・小・原	年 月 日				
		他	年 月 日				
	第二種免許		年 月 日				
種類							
備考							

作成者

埼玉県  
司法

年 月 日  
警察署





		被疑者																																											
		罪 名																																											
<div>仮 還 付 証 拠 品 提 出 書</div> <div>年 月 日</div> <div>埼玉県 警察署長 司法警察員警視 殿</div> <div>住居</div> <div>職業 (電話 ) 氏名 (印) ( 歳)</div> <div>年 月 日 から仮還付を受けた下記物件を提出します。用済みの上は、処分意見欄記載のとおり処分して下さい。</div> <table><tr><th colspan="5">提 出 物 件</th></tr><tr><th>番号</th><th>品 名</th><th>数量</th><th>提 出 者 処 分 意 見</th><th>備 考</th></tr><tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>取扱者印</div>						提 出 物 件					番号	品 名	数量	提 出 者 処 分 意 見	備 考	1																													
提 出 物 件																																													
番号	品 名	数量	提 出 者 処 分 意 見	備 考																																									
1																																													

注 1 本提出書作成の際、領置調書の作成は不要である。

2 還付不要の物件には、提出者処分意見欄に必ず「所有権を放棄する。」旨明記させ、所有権放棄書を作成させること。

訂 正 被 害 届 追 加					
埼玉県		警察署長 殿 届出人 住 居 氏 名		年 月 日	
				ⓐ )	
次のとおり		被害の		訂 正 追 加	
		がありましたからお届けします。			
被 害 者 の 住 居 職 業 、 氏 名 、 年 齢					
被 害 の 届 出 年 月 日 等		年 月 日 (受理番号 第 号)			
被 害 の 訂 正 又 は 追 加 の 理 由					
被 害 の 訂 正 事 項 (被害者関係、被害の年月日時、被害の場所、被害の模様、被害金品等)					
追 加 被 害 金 品	品 名	数 量	時 価	特 徴	所 有 者
参 考 事 項					
※					
			届出受理者	係	氏名

(注意) 1 本届出は、被害届の提出後、被害場所等の訂正があった場合又は被害金品の追加があった場合に作成する。  
2 訂正の場合は「訂正」を、追加の場合は「追加」を○で囲むこと。  
3 被害金品を追加する場合のみ追加被害金品欄に記載し、それ以外の場合は被害の訂正事項欄に記載すること。  
4 届出人と被害者が異なるときは、届出人と被害者との関係及び本人届出の理由を参考事項欄に記載すること。  
5 届出人の依頼によって警察官が代書したときは、※印欄に「以上本人の依頼により代書した。所属、官職氏名」を記載し、押印すること。

口腔内細胞に係る任意提出・DNA型鑑定承諾・所有権放棄書

年 月 日

埼玉県 警察署長 殿

住居

職業

(電話 — — )

氏名

印

( 歳)

- 1 私の口腔内細胞のDNA型鑑定を実施してその結果を犯罪の捜査に利用することについて説明を受け、よく分かりましたので、私の口腔内細胞若干 ( ) を任意に提出します。
- 2 前記物件について鑑定上必要と認められる処分をされることを承諾します。
- 3 前記物件について所有権を放棄します。

赤  
刷  
り

## 実 況 見 分 調 書

年 月 日

埼 玉 県

警 察 署

司 法

㊞

被疑者 に対する 被疑事件につき、  
本職は次のとおり実況見分をした。

1 実況見分の日時  
年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで 天候

2 実況見分の場所、身体又は物

3 実況見分の目的

4 実況見分の立会人

住 居

職 業

氏名・年齢

( 歳)

5 実況見分の経過

(1) 現場の位置

別紙現場付近の見取図参照

(2) 現場の様相

一 般 的 状 況										
市 街	市街地			非市街地			信 号 機	作動中 ( )		
見とおし	前方	良	約	メートル	交 通 量	車両		多い	普通	少ない
	右方	良	約	メートル		人		多い	普通	少ない
	左方	良	約	メートル		照明		施設	あり	なし
道 路 状 況										
歩 車 道	区分あり			区分なし			路 面	平坦、凹凸、乾燥、湿潤 泥ねい、凍結、積雪 ( cm)		
舗 装	アスファルト、コンクリート その他 ( )			交通規制	速度規制 ( km/h)、駐車禁止、一方通行 追越しのための右側部分はみ出し禁止、一時停止 その他 ( )、なし					
路 線	直線、曲り角、カーブ ( ) 交差点 ( )				横断歩道		方	メートル		
側 溝	有蓋	無蓋	なし	横断歩道等	歩道橋		方	メートル		
勾 配	上り	下り	なし							
そ の 他 の 状 況										

## (3) 被疑車両および被疑者の状況

被 疑 車 両 の 状 況			
(                      号 )		操 行 装 置	異常    あり なし
乗車積載の状況		制 動 装 置	異常    あり なし
ハンドルの位置	左                      右		
破損の状況			
被 疑 者 の 負 傷 状 況			

## (4) 被 車両及び被 者の状況

被                      車 両 の 状 況			
(                      号 )		操 行 装 置	異常    あり なし
乗車積載の状況		制 動 装 置	異常    あり なし
ハンドルの位置	左                      右		
破損の状況			
被                      者 の 負 傷 状 況			

## (5) 事故発生時の状況

立会人指示説明	
---------	--

## (6) 証拠物

## (7) 実況見分補助者

実況見分の状況を明らかにするため、各関係地点相互の距離を測定したうえ、                      が作成した交通事故現場見取図    枚、                      が撮影した写真    枚（葉）の画像データを末尾に添付した。